

5 エコスタイルタウンでの 環境コミュニケーション「エコVOICE」



エコスタイルタウンを通じて、参加するみなさんから、
環境に対する声を伺いました。

- 「北九州市が環境首都を目指していることを知っていますか？」
- 「環境モデル都市に認定されたことを知っていますか？」
- 「環境モデル都市行動計画(北九州グリーンフロンティアプラン)を知っていますか？」
- 「エコスタイルタウンに参加して、環境に対する意識が変わりましたか？」
- 「今年のエコスタイルタウンに参加してみて、いかがでしたか？」
- 「エコスタイルタウンに参加して良かった点は、何ですか？」
- 「エコスタイルタウンに参加して感じた改善点は、何ですか？」

◆来場者のみなさんの「エコVOICE」

環境モデル都市の認定を受けて1年。「エコスタイルタウン」において2日間にわたって、来場者のみなさんに、北九州市の環境への取組み・実践について、環境意識のアンケート調査を実施しました。

環境モデル都市認定前・北九州グリーンフロンティア策定前の、2007年度のアンケート結果と一部比較しています。

「さあ行動しよう、私たちにデキルコト」

＜回答数＞男性104名(23%) 女性341名(77%)

設問は、回答者の属性を含めて14項目。その中で、「北九州市が環境首都を目指していることを知っていますか」「環境モデル都市に認定されたことを知っていますか？」

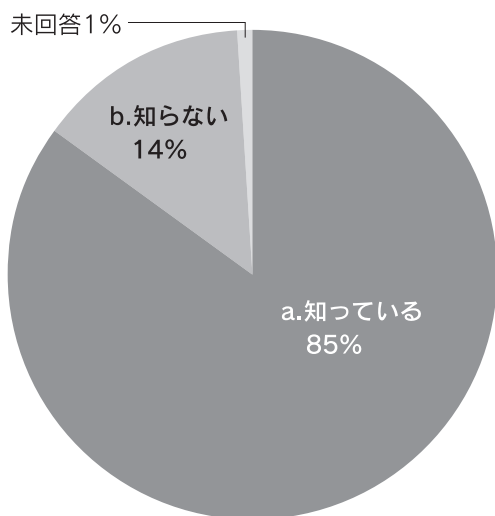
「環境モデル都市行動計画を知っていますか？」等、主な設問に対する回答をまとめてみました。

回答者の年齢は、30・40代だけで43%です。

10代の回答が、13%と若年層からの回答も得られるようになりました。



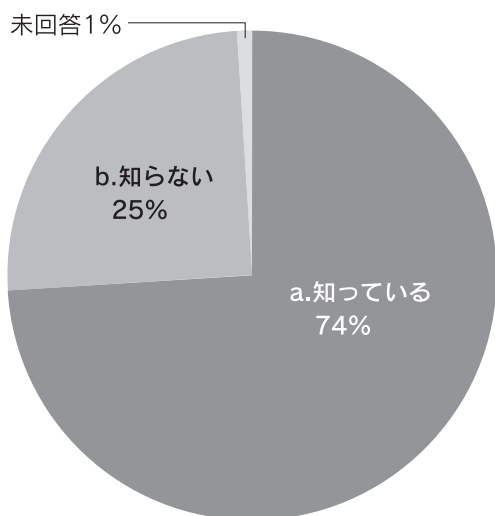
■「北九州市が環境首都を目指していることを知っていますか？」



回 答	回答数	割合 (%)	2007年比
a.知っている	416名	85%	3ポイント上昇
b.知らない	86名	14%	4ポイント低下
未回答	4名	1%	—

85%の回答者(来場者)が、「環境首都」を目指していることを認識していました。「環境首都を目指して」のメッセージを伝え続けて9年。市民意識としての定着が伺える結果となりました。

■「環境モデル都市に認定されたことを知っていますか？」

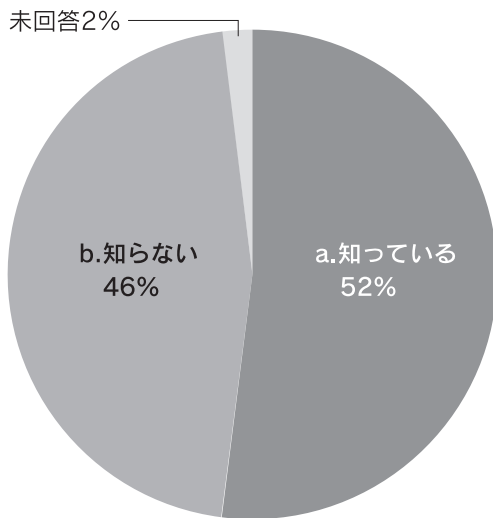


回 答	回答数	割合 (%)
a.知っている	362名	74%
b.知らない	121名	25%
未回答	5名	1%

74%の回答者(来場者)が、北九州市が政府認定「環境モデル都市」であることを認識していました。

環境モデル都市の認知度は、低炭素社会を目指すスタートラインではありますが、アンケート結果により、認定後の取組みの成果があったことが伺えます。

■「環境モデル都市行動計画(北九州グリーンフロンティアプラン)を知っていますか？」



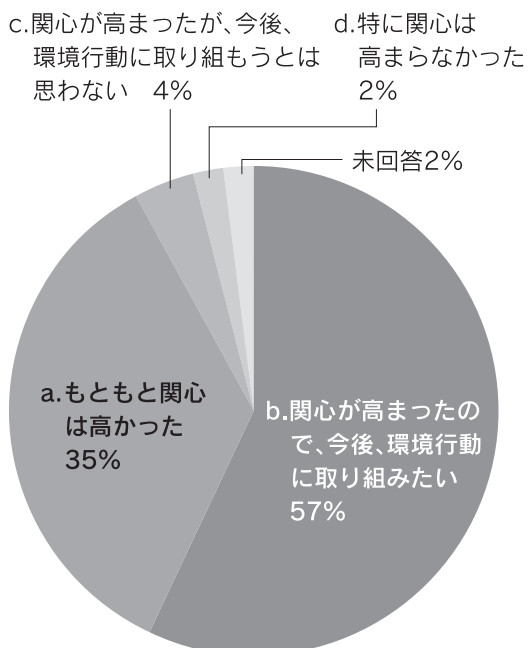
回答	回答数	割合 (%)
a. 知っている	255名	52%
b. 知らない	225名	46%
未回答	8名	2%

北九州市は、全国に先駆けた低炭素社会実現のための取組みとして、「北九州市環境モデル都市行動計画(北九州グリーンフロンティアプラン)」を2009年3月に策定しました。このうち、紫川エコリバー構想や次世代エネルギーパークが「環境が先端の街を創る」取組みとして行われています。

アンケートでも、52%の方が行動計画を知っているという結果が得られ、市民が環境モデル都市の取り組みに関心をもっていることが感じられます。

今後は、リーディングプロジェクト等、市の取組みが「見える」ことが重要になりますが、「エコスタイルタウン」も、取組方針の「環境が豊かな生活を支える」取組みとして、より一層の市民一人ひとりが環境活動に参加しやすい仕組みづくりを、今後も伝え続けていきたいと考えます。

■「エコスタイルタウンに参加して、環境に対する意識が変わりましたか？」



回答	回答数	割合 (%)	2007年比
a. もともと関心は高かった	169名	35%	13ポイント低下
b. 関心が高まったので、今後、環境行動に取り組みたい	280名	57%	10ポイント上昇
c. 関心が高まったが、今後、環境行動に取り組みようとは思わない	16名	4%	同じ
d. 特に関心は高まらなかった	11名	2%	1ポイント上昇
未回答	12名	2%	—

本イベントをきっかけに、環境に対する意識が高まった人を含めると、環境行動を実践する層は、全体の9割となりました。来場者の意識の高さとともに、本イベントへの来場を今後も広報することで、環境行動の意識啓発と実践する市民のみなさんのすそ野を広げていきたいと思いをします。



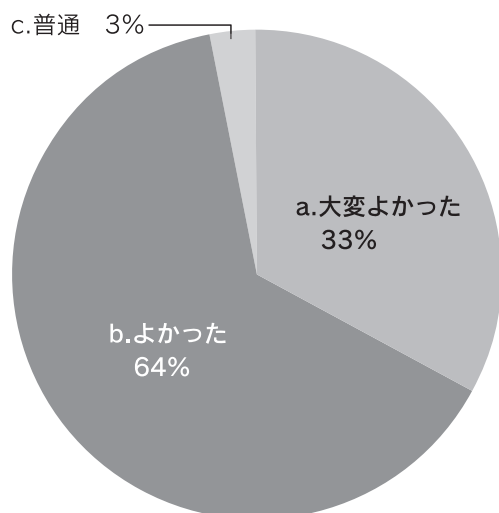
◆出展者のみなさんの「エコVOICE」

エコスタイルタウン周辺で開催される他イベントとの共同開催の関係上、今年初めて出展者の申込締切を行うと共に、限られた会場内で少しでも多くの出展をしていただけるよう、出展コマ数も制限した結果、出展団体は93団体となりました。(前年度103団体)

アンケート回答数 30 (回収率33.7%)

※前年度 回答数 38 (回収率37%)

■「今年のエコスタイルタウンに参加してみて、いかがでしたか？」



回 答	回答数	割合(%)
a.大変よかった	10名	33%
b.よかった	19名	64%
c.普通	1名	3%
d.あまりよくなかった	0名	0%
e.全然よくなかった	0名	0%

回答いただいた出展者の9割から、「大変よかった」「よかった」との回答を得られました。

しかし、回答率が、出展者全体の3分の1を推移したままです。参加した結果を、イベント全体に反映できる仕組みづくりが課題です。

■「エコスタイルタウンに参加して良かった点は、何ですか？」

①出展者の自己啓発・PR

- ・「エコは継続」であることを実感。会場のみでエコ活動を終わらせることなく、「廃材による花の種入りハガキ」作成により、外に向けてエコメッセージを発信した。
- ・来場者の多い環境展示会で商材を紹介できてよかった。
- ・多くの市民の方に取組みを見て、関心をもってもらえたこと。

②他団体・市民との交流

- ・来場者の方々や近隣の出展者の方ともお話をすることができ、いろいろ考えるきっかけになりました。楽しかったです。
- ・屋外イベントのせいか、出展者と来場者の垣根が低く感じられ、市民の環境意識をより身近に実感できたこと。

③エコ意識の向上

- ・来場者が想像以上に多かった。(4人)
- ・ゴミ箱がないので、会場内がキレイだった。

④出展者の学習機会

- ・環境に配慮した取組みの模範(リターナブル食器、グリーン電力の使用等)を見せてもらえるので、今後のイベントの参考になる。
- ・リサイクル活動に取り組む企業として多くの方に知っていただく機会となった。また、さまざまな活動を行っている企業・団体を知ることができた。
- ・いろいろなブースを回って環境問題に対する意識が強まりました。

■「エコスタイルタウンに参加して感じた課題点は、何ですか？」

- ・全体としてPRの必要性を感じた。せっかくのエコスタイルタウンのイベント開催であり、内容の手ごたえあるものが多く生きた環境学習の場であり、あらゆる場面で事前PR活動を行い集客を図ること。(2人)
- ・野菜を売るお店を増やしてほしい。エコ料理等有名ゲストを招いてやってはどうでしょう？
- ・食事を展開しているブースが少なかったなので、もっと出展数を増やして更なるエコ意識(マイ箸・マイ皿)運動を広めてもらいたい。

- ・ゴミに対する意識、いかに袋の利用を減らすかもっと考えるべきだと思う。
- ・さらにわかりやすい説明ができるよう、内容について工夫し、展示物の充実を図る。(3人)